
平和

博多っ子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

平和

【Nコード】

N7988C

【作者名】

博多つ子

【あらすじ】

みんな生きてるんだ。みんな心を持っている。ではなぜ一つの生物はみんなと仲良くしないの？悲しいよ。お願いだから・・・一緒に握手をしようよ。

森は瞳を輝せていた。

海は口元をゆるくして微笑んでいた。

川は元気な声ではしゃいでいた。

土はミミズ達と一緒に寝ていた。

――――

――

――

――

森の瞳は濁っていた。

海の口元に笑みはなかった。

川は大量の涙を流し泣いていた。

土は寝る事はなかった。

――――

――

――

――

なぜ？

なぜみんな元気がないの？

なぜなの？？

森の頭は伐採され動物達は追いだされた。

海がいつも笑顔で会話をしていた魚達はもういなかった。

川にいたサワガニやアユ、カワセミ達は姿を消した。

土は赤土となりミミズやモグラは死んでしまった。もう一緒に楽しく寝ることも叶わないなんて。

まだ泣いているよ。

地球の全てが・・・

空気も排気ガスと言う物に怯えている。

地球そのものが悲しい瞳で僕達を上から覗いている。

あ！また一人の人間が・・・死んだ。

家族は泣いていた。

でもそばの木々達は風を受けて枝をゆらし喜んでいるような感じであつた。

《人間なんか全員死んでしまえ》

まるでそう言ってるかのように。

仲良くしなきゃ。

人間も自然も同じ仲間なのだから。

仲良くしなきゃ。

同じ命を灯しているのだから。

いつか・・・いつか絶対、人間も自然も握手をして平和な地球を築いてほしい。

《頑張れ！》

あ！流れ星が僕らに向かって・・・

《頑張れ！》

いつか本当の平和がおとずれるように。

（後書き）

小説というか詩みたいな感じになってしまいました。

できれば評価や感想をいただくと嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7988c/>

平和

2010年10月11日00時35分発行